

兵庫県南部地震地すべり等緊急支援チームの働き

◎ 平成7年（1995年）1月22日～27日、約1,100か所をA・B・Cの危険度分類。砂防部、土木研究所、8地方建設局、長野県等21府県、大学、団体、民間等346名

◎ 中田幸恵氏の手紙（森喜朗総理あて）

・六甲砂防工事事務所に数百人避難

「事務所職員も同じ被災者でありながら、砂防という大きな使命、二次災害を防ぐためにも死守しなければならない任務、緊急支援チーム等支援部隊への配慮など、本来の使命の一番重要なときに、避難者への人道的かつ献身的協力を惜まず避難者を暖かく包む雰囲気に対応してくれた職員の行動」に感激、賞賛の手紙。（野坂浩賢、森喜朗建設大臣への手紙、あれから1年、復興への力強い足音が・・・、砂防と治水110、1996.6）

・「全国からの支援部隊「兵庫県南部地震地すべり等緊急支援チーム」が組織され、その作業条件の厳しい中、・・二次災害防止に必死に取り組まれていた。」

◎ ある新聞

「上空では取材のヘリコプターが大きな爆音で飛び回る中、緊急支援チームが 地上をはいつくばって危険箇所の点検を行っている姿をみて、住民はどれだけ大きな安心感と信頼感を持ったことか」

引用：令和元年度兵庫県砂防ボランティア協会総会研修会大久保 駿氏

1

緊急支援チームの活動状況

全国から砂防の専門家、346名が駆けつけ、震災直後から6日間にわたり、緊急調査が実施された。



引用：兵庫県南部地震地すべり等緊急支援チーム活動の記録、令和3年度土砂災害技術者講習会資料

2